

# Laughter is the best medicine

## ～笑いは最善の薬～

**3/9にあまらぶジュニアコースのまとめとしてこれまでの活動を発表しました。他校の取り組みも聞くことができました。以下は生徒の感想です。**

私は「あまらぶ」を通じて自分とは違う様々な考えに触れることができました。私が知らない尼崎の名所やグルメのことについても知ることができたのでとても嬉しく思いました。また、自分自身で尼崎をよりよくするためにいちから考えて友達と意見交換をすることができました。全てが初めてということもあり、戸惑うことも沢山ありました。私はパソコンを使うことが苦手でしたが、得意な友達に教えて貰ったり、手伝ってもらったりしたので少しだけ使えるようになりました。また、楽市楽座などで使った人形劇は後半バタバタしてしまいましたが、多くの収穫があったイベントでした。計画性の大切さや、みんなのリーダーとなり指示をすることの難しさ、達成感などを学ぶことが出来ました。制作中は終わりが見えず途中でやめたいとも思いましたが、子どもたちが喜んでる姿を見るとやはりやって良かったと心が嬉しくなりました。「あまらぶ」として活動することは終わってしまいましたが、これからは街づくりのために何か活動をしていきたいと思いました。

今回の活動発表で、1年間行ってきた「あまらぶ」の活動が終わりました。

この1年間、「あまらぶ」を通して様々なことを学ぶことが出来ました。

例えば、仲間と協力することの大切さです。

子ども班の10人は、運動部で忙しい人もいた分、帰宅部が作業を行うことが多々ありまし

- た。帰宅部だといってもそれぞれの事情もあり、厳しい時もありました。
- それぞれの日程や考え方が異なり、何度も話し合いをし、意見をぶつけ合いました。
- そういった中で相手の気持ちや、状況を理解し、ひとりひとりの出来る範囲で作業を進めていきことができました。そうすることで、互いを思いやり、協力することが出来ました。
- 次に、コミュニケーション能力の重要さです。「あまらぶ」の活動として、イベントを行う中で、小さな子ども達から大人まで、様々な方とお話する機会を得ました。
- 私は元々話が上手い方ではなく、特に小さい子との接し方がわからず、大変に思うことが多くありました。
- それでも積極的に関わり、多くの人と話す事が出来ました。
- 私はこの1年間で「あまらぶ」の活動として行った交通ルールや障がい者理解の事だけでなく、多くのことを学び、人との繋がりを作ることが出来ました。
- あまらぶとしての活動が終わっても、これからも様々なことに挑戦していきたいです。
- 
- 私は去年の夏から「あまらぶ」に参加しました。最初は「あまらぶ」というのがどういうものなのかよく分からないまま参加していました。しかし、何回も「あまらぶ」に参加し、プレゼンをしていくうちに自分たちが計画したイベントを成功させたいと強く思うようになりました。「あまらぶ」を通して行うイベントの1つ目として楽市楽座で人形劇を行いました。準備期間にはお互いに意見がぶつかることもありましたが、全員で協力し、無事成功することができました。「あまらぶ」

を通して自分たちで計画する力、それを実行する力を身につけられたように思います。また私は伊丹市に住んでおり、元々尼崎市のことについてあまり知りませんでした。「あまらぶ」に参加し、他のグループのプレゼンを聞く中で、尼崎にこんなところがあるんだと尼崎市をより知るきっかけになりました。多くのイベントを行う中で大変なこともありました。貴重な経験をするのができて楽しかったです。

私は、昨年度から「あまらぶ」に参加してきました。昨年、私は参加するまで「あまらぶ」とは何をしているのかあまり分かっていませんでした。しかし、先輩方が子どもの貧困についてや商店街の活性化について色々な議論をしているのを聞いて、後輩の私も来年は受け継いでいくという自覚を持つことが出来ました。

今回はこの1年間、子ども班として「あまらぶ」での企画作りや人形劇の用意、実施、パワーポイントの作成などを行ってきました。まず「あまらぶ」では7月や夏休み中の活動において、部活動などで参加しにくかった人への共有や役割をうまく回せずに失敗がとて多かったです。私は、看護での活動がとても好きで、やるべき仕事はやる事が当たり前、自分ができる最低限はするべきだし、できない人の分も代わりにやれば良いという考えがありました。だから初めは張り切って積極的に参加をしたり、参加できなかった人へのまとめを作って、LINEに回したりなどをしていました。しかし、反応がないこともたまにあり、私が伝えたつもりでも伝わっていないこともあったので少し傷ついたこともありました。パワーポイントのリハーサル会でも質問に答えているのは私だけという指摘を受けてしまいました。他に誰が答えてくれるのかわからないということもあり出しゃばり過ぎたのかもしれない。逆に、集まる予定だったはずの日に行く

●  
●  
● 事ができず、周りに迷惑をかけてしまったこともあります。この時は正直ボロボロで、このような雰囲気でもうまくいくわけがないと思ったり、去年の先輩方はよくまとまっていたのになぜ私はまとめる力がないのかと落ち込むことばかりでした。しかし、9月5日のパワーポイントを作る準備の時に私が弱っているのを気にかけてくれたり、代わりに原稿や班全体での呼びかけをしたりすると言ってくれた友達がいたことで私1人ではないと気づけ、もう一度頑張ろうと思えました。全員での話し合いを何度も行ったり、お互いの事情や意見をぶつけ合ったことで全員でやろうという意識になり、質問が来た時の役割も決めたことで返答するのが私だけではなくなりました。その結果、9月5日の発表がうまくいったのだと思います。  
● そして、事業を進める時も様々な問題がありましたが、本当に支えてくれる友人たちのおかげで成功できたのだと思いました。  
● 今回の発表もそのように支えて、助けてくれた友人たちがいたからこそ結果として残すことができたし、他校の生徒からもとても評判が良かったから本当に嬉しかったです。  
● ここまでせっかくやってきたからこそこれからも子どもたちと関わっていきたいと思いました。

**6月からずっと参加してきたあまらぶがとうとう終わりました。これまでパワーポイント作りなどあまらぶを通して学んだことを次に繋げていきたいと思います。また他校の生徒とも関わるいい機会になりました。**